

## 1月の庭仕事

## 主な作業

## ●草花

## 花壇の土壌改良

約30cmの深さに耕し、表土と心土を入れ替え、寒気にさらす。草花の定植1～2週間前に消石灰(150g/m<sup>2</sup>)と堆肥や腐葉土、ピートモスなど(10～15ℓ/m<sup>2</sup>)をすきこみ整地する。

## 古い鉢土の再生

鉢土をほぐし、腐葉土またはピートモスを3割加え、薄く広げ1ヶ月程寒さにあわせる。

## 乾燥肥料作り

油カス2、骨粉1の割合で混ぜ、水を加えよく発酵させ、親指頭大に丸め乾燥、貯蔵する。

## ●庭木

## 落葉樹の剪定

多くの落葉樹の剪定は落葉期が適期です。(カエデ類は落葉後、12月までに剪定を終えること)

## バラの元肥

3～4年生の成木で、骨粉300g、油カス300g、硫酸カリ30gと堆肥、ピートモス、落ち葉など15ℓを混合し、株元より30～40cmはなし埋め込む。

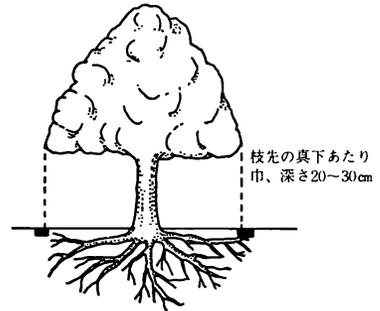
~~~~~  
やってみましょう  
~~~~~

## 寒肥の施用

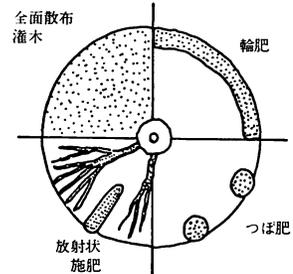
冬の成育停止期に遅効性の油カス、鶏フン、魚粉、骨粉、米ヌカなどを施し、春根が伸びだすころ肥効が現われだすように与える元肥を寒肥といい、庭木や花木に与える。

枝先の真下あたりを巾、深さとも20～30cm掘り、ここに肥料を入れ埋め戻しておく。

施肥の方法は、庭木や花木の植え方により異なる。



寒肥を与える位置



寒肥の与え方